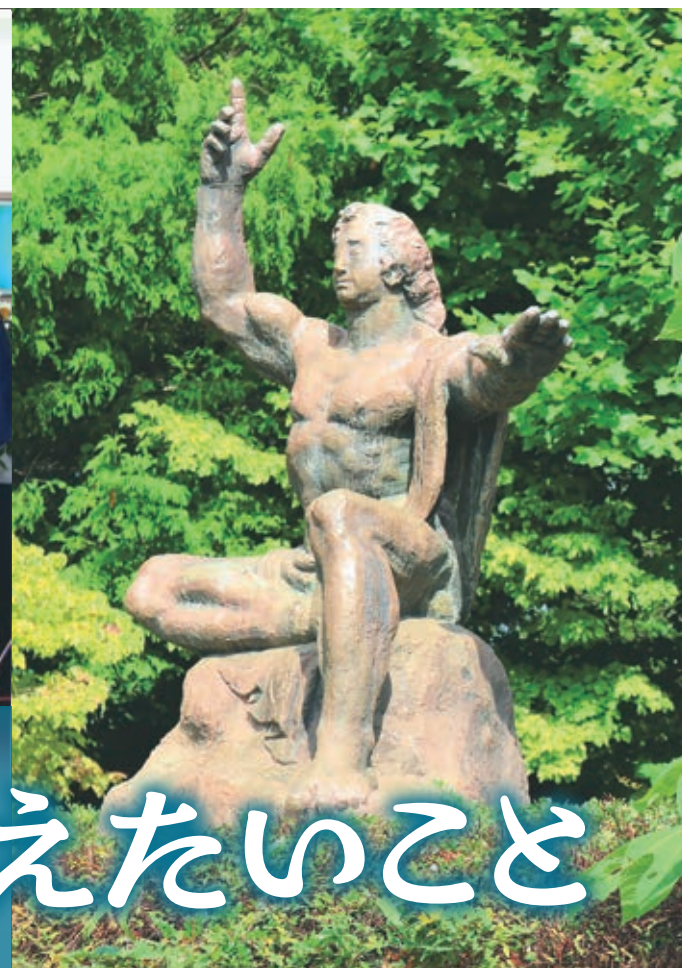




いま、未来へ伝えたいこと

戦争は人々に大きな苦しみと悲しみをもたらします。戦中の記憶や体験を知る機会が失われつつある中、市では戦争の悲惨さや平和への思いを未来へ伝えていくため、資料の収集や平和関連事業に取り組んでいます。

☎企画経営課 ☎0422-29-9032



・市長コラム・

平和を考える、未来を考える



三鷹市長 河村 孝

もはや「戦後」ではなく、ひょっとしたら既に新たな「戦前」に入っているのかもしれない、という話を最近よく耳にします。それほど今の世界情勢は危うい状況だということでしょうか。日本では「戦後」といえば第二次世界大戦の後のことを指しますが、「どの戦争の後のことですか」と聞かれる国もあるそうです。

ただ、グローバル化によって、遠いと思っていた戦争が、とても近い存在になってきている

ことは確かです。物価の急激な高騰や戦地から逃れてきた方たちの存在、そして何よりも瞬時に伝わる情報の流れによって、私たちの日常と地続きの場所に戦争があることを実感しています。

オリンピック・パラリンピックは、人類の「平和の祭典」といわれています。以前、このコラムで書いた「平和文化」の象徴でもあります。この夏、スポーツを通じて、少しでも平和の輪が広がることを期待してやみません。

YouTubeで配信中

